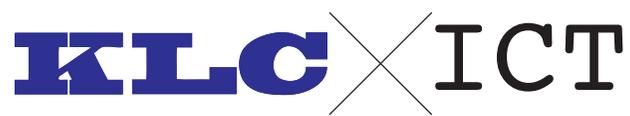


KLC セミナー指導方針

1. 「成績アップ」・「第一志望合格」のための
一人ひとりに寄り添う学習指導
2. 自ら考え、自ら行動できる力を養う



自ら課題を見つけ出し、解決する力の養成。

学習することの楽しさ、喜びを実感し、主体的に学習する姿勢をつくとともに基本的な学力を身につけ、高校受験において東高に合格できる学力を養う。

大学受験において、一人ひとりが第一志望合格へ向け自ら考え、自ら行動できる力を身につけ目標の達成を目指す。

大学受験の土台を作る 反転授業

変わる大学入試。

2020年度から始まった大学入学共通テストでは、これまでの知識偏重の出題ではなく、「知識の理解の質を問う問題や、思考力、判断力、表現力を発揮して解くことが求められる問題を重視する」を基本的な考え方としています。

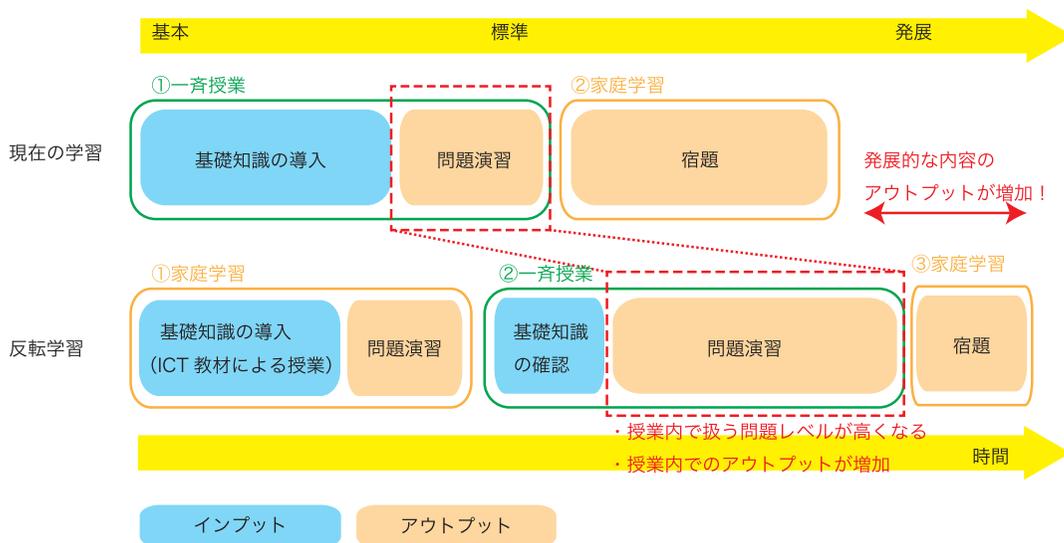
入試形式が変わっても、問われる「知識」のレベルや内容は同じため基本的には変わりません。しかし、社会生活や日常生活の場面から実用的な内容が出題されることを考えると、これまでよりも知識の定着度を高め、十分な演習量を積んでおく必要があります。それに、問題を構造的に理解する力(思考力)や、与えられた課題について、さまざまな視点から比較・考慮する力(判断力)、根拠に基づいて論理的に記述できる力(表現力)は長い時間をかけなければ、身に付きません。

中学生から大学入試への土台を作る反転授業。

KLCでは、大学入試へ向けた土台は、中学生の時から作らなければならないと考えています。単純なパターン暗記ではなく、根拠や論理をもとに、考え、表現する本質的な学習の習慣を身につけなければいけません。ただし、そのためには、レベルの高い問題の演習量と、解に至るまでの正しい理解が必要です。これは、自分で問題集を解き、解説を読むだけではなかなか得ることが出来ません。KLCでは、週1回の通塾でレベルの高い演習と十分な演習量を得るため、中学生の英語と数学の一斉授業において、反転授業を導入しています。

KLCが取り入れる反転授業とは。

反転授業とは、授業と宿題の役割を「反転」させる授業形態のことを指します。従来の一斉授業は、授業において生徒へ知識を伝達し、宿題で学習した内容の復習を行い、学んだ知識の定着を促すものです。これに対し、KLCの反転授業では自宅でパソコンもしくはタブレットでICT教材「すらら」による講義を受けて頂き、塾での一斉授業に先立って基礎知識の習得を済ませます。そして塾での授業では、学んだ知識の確認を行い、より発展的な問題の演習に取り組みます。問題の解説では、発問中心の授業を行い、根拠や論理を問うことで思考力・判断力・表現力を養います。



自分のペースで学習できる。

従来の一斉授業は教室での講義が中心です。そこで新しいことを学び、覚える必要があります。しかし、新しい知識を学んだり、覚えたりする力はどうしても個人差が出てしまいます。特にひとクラス30人であれば、何人かは授業の内容を理解できないまま、授業が終わってしまうこともあります。反転授業では、ご自宅でタブレットやパソコンを使ってICT教材「すらら」での学習を行うため、理解しにくい所は、何度も反復して学習できます。その上、KLCではこれまでと変わらず無料の補習時間を（QAタイム）設けて生徒フォローをしております。どうしても理解できない部分は、先生に直接質問する事が出来ます。基礎知識をしっかり学習した上で、塾での授業に臨めるので、これまでよりも知識の定着を期待できます。

ICT教材「すらら」の実力。

すららは、勉強にとつき易いよう「ゲーミフィケーション」を取り入れた教材です。これまで、なかなか勉強が出来なかったお子様でも取り組みやすい教材です。すららの開発には、教科の講師だけでなく、eラーニングの研究で実績のある大学教授などもプロジェクトに参加し、従来のタブレット学習の進化型として展開しています。運営しているのは上場企業「すららネット」です。毎日新聞や日本経済新聞、AERAdot.、Visions Labなど各種メディアでも取り上げられている教材です。

すららの特徴は、基礎からの学習に強いことです。これまでの教材は「映像授業型」「ドリル型」「ゲームアプリ型」など、教材の種類によって分けられており、それぞれに一長一短がありました。この点すららでは、それぞれの要素を取り入れつつ短所を補って長所を伸ばすことで、より体系的な学習が効率良く行えるように開発された対話型アニメーション教材です。知識の導入部分レクチャーと演習部分ドリルが組み合わせられ、バランス良く学習することが出来き、子供自身が参加意識を持って学べるので、飽きずに継続しやすいのも特長です。また、全国の多くの私立高校でも導入されており、鳥取県では不登校児の学習フォローにも使用される事が決定しています。一部ネットでは、教材として易しすぎるとの声もありますが、KLCでは塾の授業でレベルの高い問題の演習を行うため問題ありません。

トップ画面



レクチャー



ドリル



自主性は尊重しますが、お子様任せにはいたしません。

気になるすららでの学習量ですが、毎日学習すれば10～20分程度の時間で済みますので、学校との両立は可能です。また、すららは無学年学習方式になっており、やる気次第では先の学年の学習事項も学ぶことができます。最も気になるのが、幾らすららが優れていても、やらなければ意味がないこと。本当にうちの子が出来るのかと心配される方も多いと思います。ご安心下さい。KLCでは、すららでの学習を決してお子様任せには致しません。学習期日が守れる様、きっちりと働きかけて管理していきます。学習管理など、詳しくお聞きになりたい場合はお気軽にお問い合わせください。

ご家庭での学習 3つのポイント

- ・ご家庭での平均学習時間は1日あたり15分
- ・先にも進める、後戻りもできる！自分のペースで学習できる
- ・お子様任せにしない、徹底した学習管理

フォロー体制



保護者面談と進路相談

保護者様を対象とし、定期的に保護者面談を行っています。普段の授業の様子、テストの結果からみた現在のよいところ、また、問題点などを担当から保護者の方にご説明することで、現状を正しく認識していただき、今後どのような学習を進めていく必要があるかについてのご提案をいたします。志望校の選択など相談に乗らせていただきますのでお気軽にお問い合わせください。

Comiru (コムル)



保護者の方に”安心”をお届けするために

お子さまが塾に到着された際と塾を出てご自宅に帰られる際に、保護者の方のスマートフォンやタブレットに通知をお送りいたします。お子さまの安全管理という面から、すべての保護者の方に登録をお願いしております。また、校舎からのお知らせなどもアプリを通じてご連絡させていただいております。

安全

入退室のお知らせ通知で保護者の方の不安を軽減

お子さまの校舎への入室・退室情報をスマートフォンに通知します。

楽々

面談予約、イベント予約がいつでも楽々！

年に数回実施する面談や特別授業などのイベントもアプリで24時間予約受付！

便利

24時間いつでもどこでも欠席連絡などが行えます

忙しくても大丈夫！部活での遅刻や体調不良等、欠席・遅刻・早退の連絡もアプリで可能！事前に分かっている欠席等も先に連絡しておくことができます。

自習室完備

KLC セミナー米子校では、開校時は常に自習室を解放しています。

緊張感があり、集中できる自習室を授業の前後などに有効に活用してください。授業がない日も利用できます。

なお、自習室は学習の妨げとなる行為を禁止しています。



禁止事項

- 私語厳禁！
- 居眠り厳禁！
- 飲食厳禁！
- 携帯電話の使用厳禁！
- ゲーム機器などの使用厳禁！

上記禁止事項を繰り返すと自習室の利用をお断りすることがあります。

利用時間 月曜～金曜 14:30-22:00
土曜 12:00-22:00